

東日本大震災を乗り越える緊急提案

現場人間、世話役さんにICT利活用を

～ 緊急時、平時共に有効な利活用策～

提案 プリズム 岸本晃

日本国危急の時

- 情報の活用力が生死に大きく関わる
- ソーシャルメディアで多様な情報網
- 人の生命が助けられるかが課題

即戦力！住民ディレクター

- 東峰村・梶原伯夫モデルの紹介
- 住民ディレクターは現場人間

住民ディレクターが
2つの社会を結ぶインターフェイス



住民ディレクター
梶原伯夫

Ustream

Facebook

YouTube

Twitter

地域SNS

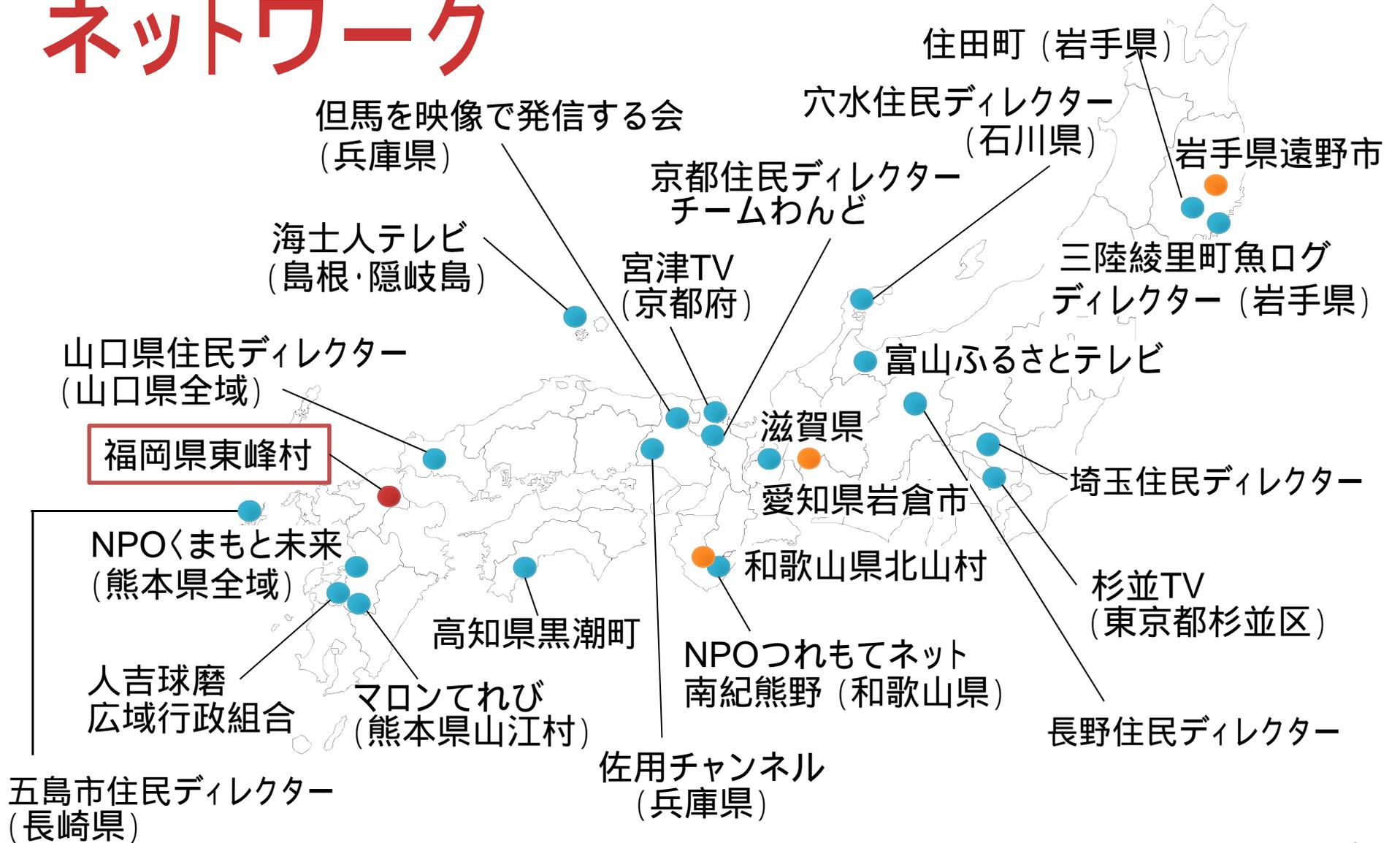
デジタル縁社会

新しい公の場に

とうほうTVキャスター

地縁地域共同体社会

住民ディレクター ネットワーク



全国の 住民ディレクター



列島に「伯夫さん」を増やす

1村1住民ディレクター研修

研修

- ・全国住民Dの情報プラットフォーム
- ・コンテンツを応用して
多メディア受発信

受発信
する

- ・ICTを活用して
全国住民ディレクター企画会議
- ・月に1回顔を合わせる企画会議

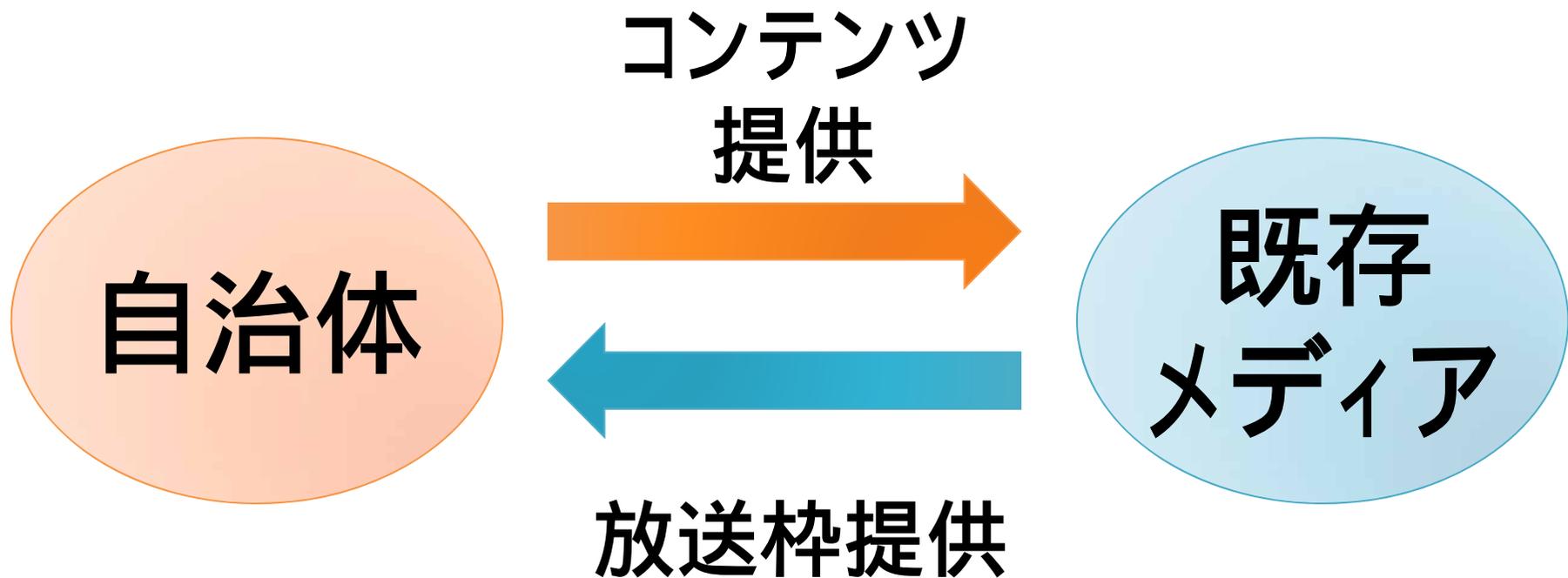
コンテンツ
制作

とうほうTVがリーダーに

東日本大震災の教訓から

既存メディア（NHK、民放）で
緊急時放送枠確保を目指す

日常の取組みから 緊急時の活用へ



まとめ

- 住民ディレクターの養成が即戦力に
- 東峰村で研修、プラットフォームで交流
- NHK、民放とのパブリックアクセス
- 自治体の情報受発信力が安心安全のまちづくりに

ひと、光る。國(くに)創り

一人一人が個性を発揮し輝いて生きることが地域活性化につながると考え、個の内面を磨くと同時に地域、社会、世界との関わりの中で自由に生きられる環境を創るための現場力、実践力を身につける動きを総合的にプロデュース。

プリズムでは國(くに)は「地域」と捉え町内会、市町村、都道府県、日本、世界、宇宙と伸び縮みしながらもすべてが一つにつながる象徴を國(くに)と表現しています。

株式会社プリズム

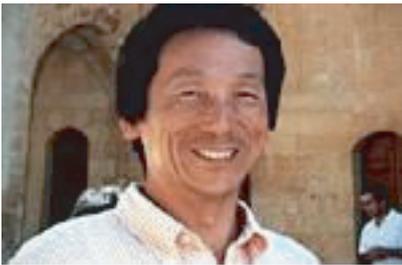


〒675-0066
兵庫県加古川市加古川町寺家町1-151
2008年8月1日設立
資本金500万円
代表取締役 岸本 晃(きしもと あきら)
問い合わせ：prism.k@nifty.comまで

九州営業所
〒861-2236
熊本県上益城郡益城町広崎516-2

東京営業所
〒108-0072
東京都港区白金3-15-6
yamasaki206号

代表者プロフィール



14年間の民放在職中に「地域づくりの手法」としてのテレビに着目、住民が番組制作を経験することで総合的な企画力を培う「住民ディレクター」を提唱。発想の基本は「押せば映る」「身体がカメラ」「番組はオマケ」。「住民ディレクター養成講座」を核に、全国各地の社会活動、住民メディア、住民制作番組等をプロデュースしている。

CATV、民放、衛星、Web放送局などを活用し、コミュニケーションの活性化による地域振興を目指す。

(株)プリズム代表取締役、NPOくまもと未来理事長。

総務省地域情報化アドバイザー。
日経地域情報化大賞・日経新聞社賞受賞
NHKスペシャル「変革の世紀2」(共著) etc.

民放在職中はニュース記者、カメラマン、編集、デスク、番組プロデューサー、ディレクター、タイムキーパー、AD、FD、イベントディレクター、営業から経理までの全プロセスを経験し、テレビの魅力、企画力養成の道具としての有効性を数多く「現場体験」した。

「ズームイン!!朝!」、「24時間テレビ」、「NNNドキュメンタリー」、「11PM」、など日本テレビ系列の全国放送番組とローカル放送では住民主体の地域ドラマ、地域活性化応援番組など全国初の企画を多数プロデュース。



八百万人紀行<http://www.yaoyorozu-hito.jp/> との創発サイト、イキイキ生きる住民の動きを紹介。

岸本晃の住民ディレクターNEWS ⇔

<http://www.yaoyorozu-hito.jp/> 「八百万人紀行」へ

□ カレンダー

2011年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

前月

翌月

□ goo ブログ

gooID :

パスワード :

ログイン状態を保持する

ログイン

ブログの作成・編集

□ 過去の記事

[2011年04月](#)

[2011年03月](#)

[2011年02月](#)

[2011年01月](#)

[2010年12月](#)

[2010年11月](#)

[2010年10月](#)

[2010年09月](#)

[2010年08月](#)

[2010年07月](#)

[2010年06月](#)

[2010年05月](#)

[2010年04月](#)

[2010年03月](#)

[2010年02月](#)

[2010年01月](#)

[2009年12月](#)

[2009年11月](#)

「伯夫さん」を全国に（東日本大震災）

2011年04月27日 / 東日本巨大地震



ずっと前から構想している住民がアクションを起こすためのネットワークメディア、今回の巨大地震の現実を見るとスピードを上げなくてはとてもお役に立てないことを痛感します。人と人の信頼関係が土台になるので手間ひまかけて礎を築いてきました。日常はメディアやツールに馴染みのない人達にも使える状況をどう作るかが要です。行き着くところは人です。東峰村でいうとスクールバスの運転手で観光タクシー運転手そしてチンゲンサイ農家の梶原伯夫さん。子どもたちに人気で高齢者の自宅にも平気であがり込んで話ができます。村の中で伯夫さんが知らない人はいても伯夫さんを知らない人はいません。

今は村のケーブルテレビ「とうほうTV」の司会をしています。人口2600人の村では伯夫さん一人でもテレビ、ラジオ、ブログ、Twitter、Facebookなどを駆使して全国へ発信できれば被災時に最も有効な手を打てる可能性は大です。当然、学校の先生、父兄、ヘルパーさん、駐在さん、消防団の皆さんともツーカーです。いざという時、何をすべきか、誰がすると良いか、などの判断ができます。またソーシャルメディアで情報をとれます。「伯夫さんのような人」のことを「住民ディレクター」とずっと言って来たのです。何とか全国のどこにでも「伯夫さん」を、と考え列島行脚してきました。今、東日本の被災地でも有効な手だてを産み出す方法を考えています。

コメント (0) | Trackback (0)

[前の記事へ](#)

[次の記事へ](#)